



学校だより 第2号  
平成31年4月18日  
足利市立毛野小学校  
0284-91-4152



## 桜満開の中の入学式 ~81名の1年生が入学しました

新入生の入学を待っていたかのように、校庭の桜が満開の中、81名の新入生を迎えて、心のこもった入学式が4月10日に盛大に行われました。担任の先生から呼名された新入生は、元気いっぱい返事をする事ができました。また、在校生の代表として2年生が入学式に参加して、歓迎の歌（「毛野小校歌」と「1年生になったら」）と呼びかけをしてくれました。さすがお兄さん・お姉さん、素晴らしい歌と呼びかけでした。新入生や保護者の皆さんにとって忘れられない入学式になったことと思います。



【きれいに飾られた1年生のオープン】

## 対面式(4/11) よろしくおねがいします

花のアーチをくぐって入場し、81名の1年生と2年生以上が対面し、在校生を代表して2年生の橋本果純さんが心を込めた歓迎の言葉を述べてくれました。その後、同じ2年生の代表の三田健太さんから1年生の浅香日菜里さんへ自分たちが育てたアサガオの種がプレゼントされました。この種から素敵な花が咲くことでしょう。



【すばらしかった歓迎の言葉】



【アサガオの種のプレゼント】



【花のアーチをくぐっての退場】

## あいさつ〈第2回〉～家庭でも、ぜひ「あいさつ実践」をしてください～

### ☆どうすれば挨拶できる子に育てられる？☆

「あいさつができるような子になってほしい」と願う保護者は多いはずですが、では、どうすればあいさつのできる子に育てられるのでしょうか。

まずは、保護者があいさつをする姿を見せることが大切かと思えます。お子さまは、身近にいる保護者の姿を見ながら育ちます。信頼している保護者の言動を見本として成長していくので、外でも家でも自然とあいさつができる保護者を見て、マネをするようになるのではないのでしょうか。

まず、保護者が多くの場面でいつも「おはよう」「ありがとう」「ごめんね」と言うことで、お子さまも「どのタイミングであいさつをすればいいのかわかるようになる」と理解しやすくなります。

そして、あいさつができないからといって、叱ったり無理強いしたりしないようにしてください。あいさつは明るく心がさわやかになるという印象をもたせられるように家庭でも実践してみたいと思います。

